

平成18年8月9日

各位

上場会社名 プレジジョン・システム・サイエンス株式会社  
(コード番号：7707)  
本店所在地 千葉県松戸市上本郷 88 番地  
問い合わせ先 取締役業務本部長 秋本 淳  
TEL 047-303-4800  
URL <http://www.pss.co.jp/>

### 100%出資子会社「PSSキャピタル株式会社」の設立と 「バイオコンテンツ投資事業有限責任組合」への出資について

この度、プレジジョン・システム・サイエンス株式会社（以下、PSS）は、バイオベンチャーへの投資・育成を事業目的とした100%出資子会社 PSSキャピタル株式会社（以下、PSSC）を設立いたしました。

また併せて、PSSCと株式会社トランスサイエンス（以下、TS社）\*が共同で運営・管理を行う「バイオコンテンツ投資事業有限責任組合」に対し総額500百万円（内訳 PSS：450百万円、PSSC：50百万円）の出資を決定いたしました。

#### 1. PSSC及びファンド（投資事業組合）設立の背景・目的

PSSはこれまで、バイオ産業におけるシステム・インテグレータを標榜し、独自の特許技術を基に事業展開して参りました。特に、磁性体粒子のハンドリング特許技術である「マグトレーション・テクノロジー」は、ロシユグループやキアゲングループなどの世界的な大手バイオ企業に認められるものとなり、同技術を利用したDNA自動抽出装置は、OEM供給を通じてワールドワイドに累計4,000台以上の出荷実績となり、現在も事業拡大中であります。

これらDNA自動抽出装置の成功は、PSSのシステム技術とOEM先の試薬技術の融合により成立したものであります。言い換えれば、PSSのインフラ技術の上にOEM先のコンテンツ技術が搭載された製品であります。最近では、マグトレーションに臨床診断薬を搭載した診断システムとして(株)三菱化学ヤトロンにも採用され、その応用範囲が拡大しております。今後は、タンパク質解析などの分野にも展開していく方針であります。

こういった事業展開におけるキーポイントは、PSSのインフラ技術に“どのようなコンテンツを搭載していくか”という点であり、これはマグトレーション、バイオストランド、あるいは現在PSSにて開発中の基幹技術の全てに共通して言えることであります。これまでは、コンテンツの提供を大手OEM先に求めてまいりました。そのため、事業進捗がOEM先に大きく左右される上、PSS技術の応用範囲もOEM先ビジネスにより限定的なものとなっております。一方で、現在PSSの周辺には、PSSのインフラ技術に搭載可能な技術・コンテンツを保有する大学教授や研究機関、バイオベンチャー企業などの情報が集積してきております。

この度のPSSC及びファンド（投資事業組合）の設立は、こういったバイオコンテンツ保有者に対し、PSSのシステム技術を提供するとともに、資金・人材も含め総合的に支援・育成していくことで、キャピタルゲインの獲得を狙うとともに、PSSグループの事業フィールドの拡大を図ることを目的としたものであります。延いては、予防医療やテーラーメイド医療などの早期実現、バイオ産業全体の活性化にも貢献できるものと考えております。

## 2. P S S キャピタル株式会社の概要

会社名	P S S キャピタル株式会社
設立日	平成 18 年 7 月 7 日
本店所在地	千葉県松戸市上本郷 88 番地
代表者	代表取締役社長 秋本 淳
資本金	30 百万円 ( P S S 100% 出資 )
事業目的	投資育成事業、コンサルティング等

P S S C 役員人事 ( 平成 18 年 7 月 7 日付 )

氏名	地位・職位	備考
秋本 淳	代表取締役社長	当社取締役兼務
高橋 正明	取締役	当社取締役兼務
福井 三佐子	取締役	当社従業員兼務

## 3. ファンド ( 投資事業組合 ) の概要

ファンド名称	: バイオコンテンツ投資事業有限責任組合		
設 立	: 平成 18 年 7 月		
無限責任組員	: 株式会社トランスサイエンス 代表取締役社長 井上 潔、所在地: 東京都千代田区		
	: P S S キャピタル株式会社 ( P S S 100% 出資子会社 ) 代表取締役社長: 秋本 淳、所在地: 千葉県松戸市		
ファンド総額	: 10 億円 ( 確定 ) ~ 25 億円を想定 ( 今後約 1 年間で追加出資を募集、キャピタルコール方式 ) 株式会社トランスサイエンス ( 無限責任組員 ) 500 百万円 P S S キャピタル株式会社 ( 無限責任組員 ) 50 百万円 プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 ( 有限責任組員 ) 450 百万円		
出 資 期 間	: 10 年間 ( ただし、2 年間の延長あり )		
投 資 対 象	: 各種生体物質や生体情報のうち、特に測定・計測・検体加工処理装置等のシステムインフラに搭載した場合に価値を発揮する産業上有用な、いわゆる「バイオコンテンツ」やこれらを解析する優れた技術を保有する創業段階・成長段階の未公開企業		

現在、バイオ市場では、ゲノムやプロテオームを対象とした様々なプロジェクトから得られた知見が、より高度な解析を経て、人類の実生活に利用される準備が着々と進行されつつあります。例えば、遺伝病や疾患などの遺伝子レベルの診断や、抗がん剤などの薬物代謝の判断、個人の疲労度やストレスなどを判定するものなど、多種多様な生体物質や生命現象 ( バイオコンテンツ ) の実用化が様々な形で検討されております。

当該ファンドは、上記のような産業上有用な「バイオコンテンツ」や、これらを解析する優れた技術を保有する創業段階・成長段階の未公開企業に集中的に投資・育成 ( ハンズオン ) を行い、投資先企業の製品・サービスを通して、人類・社会に貢献することを目的としております。

また、当該ファンドの運営・管理は、T S 社及び P S S C の 2 社が共同で行います。T S 社は、バイオベンチャーへの投資・育成を専門とする独立系のベンチャーキャピタルであり、ファンド運営・管理に関するノウハウ・経験、そして業界ネットワークが豊富であります。これに P S S グループの技術・経験・ネットワークを付加することにより、投資先の発掘からスクリーニング、事業化までのハンズオン支援を、より適切かつ効果的に実施いたします。

T S社及びP S Sグループにて、上記のとおり総額 10 億円の出資をコミットしている他、今後 1 年以内に機関投資家等からの出資を募り、総額 20～25 億円程度の規模にする予定であります。

投資額は、1 社あたり 200 百万円を目処とし、今後 3～4 年以内に、10 社程度に投資していく方針としております。

以 上

\* 株式会社トランスサイエンスの概要

トランスサイエンスは、サイエンスと知的財産を「探索」「評価」のうえ「事業化」する一貫したバリューチェーン・メソッドを有し、バイオ、メディカル、ヘルスケア、新素材、エネルギー、環境などの専門性の高い新産業領域で、将来、持続的な高い成長力を共に創っていくことができるベンチャー企業に対し、ハンズオン型のインキュベーションを行うとともに、大手事業会社・公的セクターに対し戦略的なコンサルティングを行っています。また加えて、規制緩和が急速に進む医療の領域においても医療機関や病院の経営改善・再生に関する戦略的なコンサルティング・サービスも提供しています。

詳細は、<http://www.trans-science.co.jp/> をご参考ください。

会社名	株式会社トランスサイエンス
設立日	平成 13 年 12 月 18 日
本店所在地	東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 1 号 帝国ホテルタワー 8 F
代表者	代表取締役社長 井上 潔
資本金	338 百万円

以 上